

# 毎日が 火の元警報 発令中



三月になり、寒さも緩んできましたが、同時に火に対する注意も緩んではいませんか。

三月は、空気が乾燥しています。その上、春一番などの強風が吹くなど、火災の発生しやすい条件がそろっており、ちょっとした不注意での失火が大きな火災につながります。

また、南国市では三月一日から九日までの九日間山田堰の水止めが行われるので、特に火災に対する注意が必要です。

三月一日から七日までの一週間、春の全国火災予防運動が行われます。火の取り扱いに気をつけて、火事のない生活を送りましょう。

## 出火原因の多くは たち火、たばこ

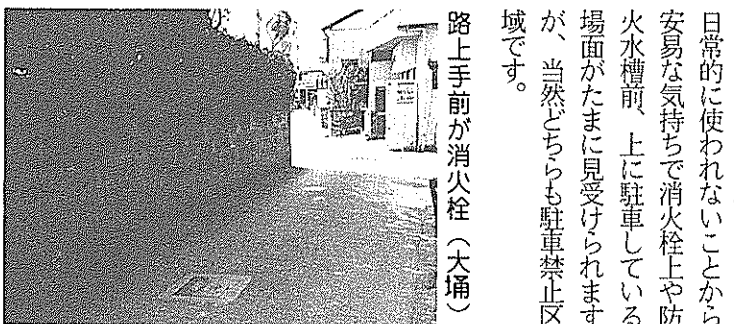
平成三年、南国市内では建物十五件、林野一件、車両三件、その他三件の合わせて二十二件の火災が発生。この火災により死者、傷者がそれぞれ一人、被害総額は一億三千万円にのぼりました。

主な出火原因は、たち火、ガスコンロ、火遊びとたばこ。ここ数年間を見てもこの四つが大きな割合を占めています。いずれもちょっとした火への油断から火災につながったものばかり。日ごろからの「火の用心」が、大切な財産を守ってくれます。

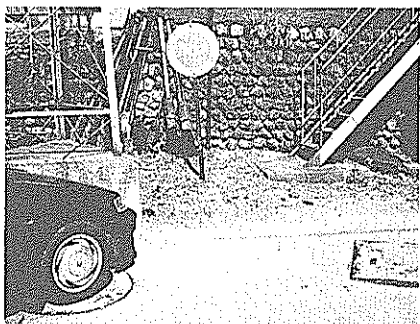
## 気をつけよう 消火栓上の駐車

市内には、消火のため公設の消火栓が六百五十カ所、防火水槽が九十五カ所あるのをご存じですか。

この消火栓と防火水槽は、火災発生時に消火のための水を供給する大切なものです。



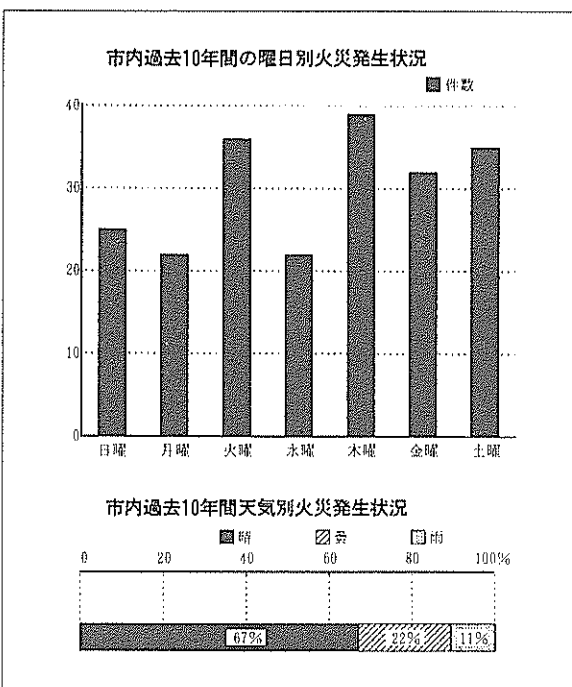
日常的に使われないことから安易な気持ちで消火栓上や防火水槽前、上に駐車している場面がたまに見受けられますが、当然どちらも駐車禁止区域です。



路上手前が消火栓（大桶）ふたの上に駐車された防火水槽（前浜）

## 晴れの木曜日は 火災の要注意日か？

南国市の火災発生状況を見てみると、昭和五十六年から平成二年までの十年間に、曜日別で一番火災が多かったのは



が木曜日。続いて火曜日、土曜日の順になっています。天気別では晴れの日が圧倒的に多く、全体の七割近くが晴れの日に発生しています。

また、時間別では午後二時から四時までの間が一番多くなっています。この前後の午後四時から六時、午後零時から二時までは、二番目、三番目の発生と、昼間の午後には火災が集中しています。

こうしてみると、木曜日の晴れの日で午後二時から四時の間は特に火災に注意が必要なようです。

## 消火豆知識

天ぷら油火災の処置

▼火が小さいとき  
ガスコンロの元栓を閉めてガスの火を消し、火がついている鍋にふたをして空気を遮断します。このとき、すぐふたとをとると、また火がついてしまうことがあるので注意してください。

▼火が大きくなったとき  
消火器で火を消してください。そのためには、台所には家庭用の消火器を備えておきたいものです。

また、火を消した後、二次火災を起さないために必ず元栓を閉めるようにしましょう。

天ぷら油火災の場合、油の温度が上がるまで、他の用事をしたり、電話にでたりして鍋から離れている間に火が出てしまう例がほとんどです。「その場を離れないこと」が絶対必要です。どうしても離れなければならないときは、「必ず火を止めて」用事をしますことが大切です。